

# 市政ニュース

## 市政重要施策の説明会を開催しました

11月29日から12月7日まで、市の重要施策である「新庁舎建設」「行政改革」「経済成長戦略」「環境施策」についての説明会を市内6会場で開催し、221人の出席がありました。

「新庁舎建設」は、現在、庁舎の外観イメージ、街並みとの調和や部署配置などの方向性を決める基本設計を進めており、説明会では中間案を示しました。

「行政改革」は、平成18年度に平成21年度までの行政改革大綱を策定し、改革に取り組んでいます。平成22年度以降も引き続き取組みを進める第2次行政改革大綱を策定中ですが、必要性や推進について説明しました。

また、年々縮小傾向にある市の経済・産業を活性化し、自立した地域経済への転換を図るために策定した「経済成長戦略」の概要を説明しました。



▲説明会の様子(豊岡市民プラザ)

「環境施策」では、コウノトリと暮らす豊岡の平成20年度の環境報告を行いました。

出席者からは、「新庁舎建設」では、借入金などの財源や現庁舎を残すことについて、「行政改革」では、総合支所職員削減の影響や災害時の体制について、「経済成長戦略」では、地元就職に向けた企業誘致や国内外からの観光集客促進についてなどの意見がありました。

提言は可能な限り生かし、市民の皆さんの十分な理解を得て、施策の推進を図ります。

## 降雪シーズン到来

### 豊岡市除雪隊発隊式を行いました

12月1日、本格的な雪シーズンを前に、降雪時の道路の除雪体制を整えるため、市役所前駐車場で豊岡市除雪隊発隊式を行いました。

本市では、積雪深15センチメートル以上になると、おおよそ午前4時から、市道の車道612キロメートルと歩道101キロメートルを、市と委託業者の除雪車150台で除雪作業に当たり、午前8時30分までに終わるようにしています。

式には、業務に当たる本庁の除雪隊員約60人が参加し、ずらりと並んだ除雪車の前で、中具市長が訓示をしました。



▲今冬更新した除雪車

## 但東シルク温泉入浴者数が

### 3,946、900人に達しました

12月8日、但東シルク温泉(但東町正法寺)の入浴者数が、3,946、900人に達し、「サンキューシルク温泉」のゴロ合わせにちなんだ記念セレモニーを開催しました。

記念すべき入浴者となった北潟 徹さん(大阪府枚方市)に、株式会社シルク温泉やまびこ代表取締役の奥田清喜さんが記念品を贈呈しました。

北潟さんは、「高速道路を通



▲大喜びの北潟 徹さん(左)と奥田清喜さん(右)

## 主な市政の動き

- 11月 13日 2009年生物多様性自治体会議(名古屋市)参加
- 15日 第51回近畿・東海・北陸ブロック民俗芸能大会(出石永楽館)
- 18日 豊岡市経済成長戦略策定
- 20日 市政懇談会(出石・但東総合支所、24日:城崎総合支所、30日:市民会館)
- 21日 仲田光成記念第9回豊岡竹野全国かな書展(23日)
- 23日 市役所本庁舎探訪会
- 27日 第8回市議会定例会開会(12月18日)
- 29日 重要施策市民説明会(12月7日)
- 30日 総合健康ゾーン健康増進施設の愛称を「ウェルストーク豊岡」に決定
- 12月 2日 兵庫県自動車整備振興会但馬支部と災害応援協定締結
- 6日 道の駅「神鍋高原」リニューアルオープン

「かばんのまち 豊岡」をPR

## 公用車にかばんデザインのラッピングをしてみました



▲行李かばんデザイン車

この1台は、ハイブリット車で、豊岡の伝統工芸品の杞柳を使用した「行李かばん」をデザインし、もう1台は、ワゴン車で、ダレスバッグをデザインしたものです。

公用車の全面ラッピングは全国でも大変珍しく、まるごとかばんデザインの車は、走行中・駐車中を問わず目を引き、「かばんのまち 豊岡」を印象付けます。

市内では、観光客などの来訪者に、京阪神などへの出張では、多くの人に豊岡の地場



▲ダレスバッグデザイン車

産業「かばん」をPRすることができます。

今後、車は、イベント、出張など、あらゆる機会に積極的に活用していきます。

## 市のマスコット「玄武岩の『玄さん』」の顔出し看板を玄武洞公園に設置しました

11月5日に市のマスコットとして登場した「玄武岩の『玄さん』」は、癒し系のゆるキャラが多い中で、しぶキャラとして異才を放っています。

発表後、人気は高まる一方で、「どこに行けば『玄さん』に会えるの?」「『玄さん』と写真を撮りたい」などの声が多く寄せられています。

そんな皆さんの期待に応え、12月10日、山陰海岸ジオパーク内の玄武洞公園に、記念撮影用の「玄さん」の顔出し看板を整備しました。当日は、「玄さん」も設置を手伝いました。

現在、「玄さん」は、山陰海岸ジオパークや観光PRの助っ人として活躍していますので、皆さんも一緒に山陰海岸



▲玄さん顔出し看板での記念撮影第1号

## 中泉市長の徒然日記 ②

### リーダーシップ

平成16年の台風23号の後、2つの典型的なリーダーシップのあり方を見ました。

1つは小泉総理(当時)です。彼は、水害発生直後、豊岡にやって来ました。被害が大きかった梶原区を、被災者に対し、例によって「よっ、よっ」と手を上げながら歩いた後、テレビ局のインタビュアーに答えて、たった一言。「震災も大変だが、水害も大変だ。しっかりする」。

それをフォローする地元国会議員の努力もあって、10年間で900億円という破格の治水対策費が確保されました。言うなれば、小泉さんは、強いリーダーとして仕事をしました。しかし、被災者の評判は必ずしも良くありませんでした。「偉そうだった」。

しばらくして、天皇・皇后両陛下が新潟中越地震の被災者の避難所を訪問されました。両陛下が被災者の前にぺたん

と座り込んで、「大変でしたね」と声を掛けられると、声

を掛けられた方はぼろぼろと涙を流していました。

両陛下は、何か震災対策で大きな仕事をされたわけではありません。「私たちはあなた方の苦しみが分かる」と言わ

れただけです。しかし、被災者の方は、それだけで救われたような気持ちになるのだと思います。

リーダーは、時として憎まなくても決断をしなければならぬときがあります。リーダーは強くなければならない。が、同時に、人々に向かって「私はあなたの苦しみが分かる」と言える心を持たなければ

ならないのだと思います。当時、山古志村の村長だった長島忠美さんから聞いた話です。避難所にさまざまな靴がなくていいようにビニールシートが敷かれた。でも、両陛下だけは、それでも靴を脱いで上がられた、と。さて、私は?

